

平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	02	項	01	目	10
事務事業名	ペアーレ大仙管理運営事業								
担当部署	企画部男女共同参画・交流推進課	206000	電話	0187-63-1111			内線	295	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	02:生涯学習の推進
	施策	02:学習情報の提供と学習機会の充実
	施策の内容	02:市民のニーズや各世代に応じた学習機会の提供
根拠法令等	健康文化活動拠点センター設置条例、同施行規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	市民の心身の健康保持増進に繋がる各種生涯学習講座を開設するほか、生涯学習活動が行える場を提供することにより、市民の福祉向上を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市市民他、近隣市町村民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	これまで社会保険健康事業財団が実施してきた各種生涯学習講座に加え、指定管理者のノウハウにより、さらなる健康増進や生涯学習活動の場を提供する。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	心身の健康保持増進に繋がる各種生涯学習講座を開設により、市民の健康保持と福祉の向上が図られる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 受講生(12か月受講生÷12か月)	人		1,288	1,315
	② 講座数(第4期)	講座		66	82
	③ 教室数(第4期)	教室		94	107
成果 (事業の成果を測る)	① 受講者延べ利用人数	人		49,562	54,011
	② 施設のフリー利用者(貸し館含む)	人		11,717	14,539
	③				
投入コスト	決算額			2,933千円	6,176千円
		一般財源	0千円	2,933千円	6,176千円
	人件費		0千円	0千円	0千円
		一般職員の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト (決算額+人件費)		0千円	2,933千円	6,176千円

事業を取り巻く環境	指定管理者が、精力的に新規講座や教室を開催して、利用者から喜んでいただいているが、新規講座を含めた各種講座内容及び運営、受講料など、住民ニーズの把握に努める必要がある。 施設が10年を過ぎ、各種設備や設置器具の老朽化により、計画的な修繕や機器の入れ替えが必要である。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	心身の健康保持増進に繋がる各種生涯学習講座の開設により、市民の健康保持と福祉の向上につながっており、継続した開設が必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	ペアールの開設は利用者から喜んでいただいている。今後も住民ニーズの把握に努めながら、指定管理者のアイデアと経験により、市民の健康保持と福祉の向上が図られる施設の管理運営に努める。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	C
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	本施設は、指定管理者制度の利用料金制により、収益の全てを維持管理費としており、効率化が図られている。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
現状	A 現状のまま継続
	B 改善しながら継続
	C 拡大
	D 縮小
	E 廃止
	好評を博しているため、事業を継続する。 ただし、計画的に修繕や機器の更新をするため、指定管理者及び財政との協議を定期的に行う。